

科目名	地域交通体系論	科目コード	1412	単位数	2
担当者名	田村 亨	開講semester	第3semester	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

ひと・モノ・お金・情報の移動の内、「ひとの移動」に着目して、より質の高い暮らしを目指すため、移動のどこを改善すべきかについて体系的に学ぶ

● 到達目標

- ・ひとの移動に関わる問題を発見し、それを解決できるようになる
- ・モノの移動に関わる用語を理解し、的確に使えるようになる
- ・国際社会の中で活躍できる「地域と交通」に関わる基礎知識を身につけ、関係する用語を的確に使えるようになる
- ・以上をとおして、豊かな人間形成における幅広い教養に基づいた異文化コミュニケーションができるようになる

● 授業内容

- 1週目 人々の暮らしを支える交通
- 2週目 交通を計画する
- 3週目 交通調査
- 4週目 日常的な交通の需要予測
- 5週目 観光交通など、非日常的な交通の需要予測
- 6週目 道路交通
- 7週目 公共交通
- 8週目 安全・安心な交通
- 9週目 環境にやさしい交通
- 10週目 防災と交通
- 11週目 地域生活圏と交通
- 12週目 国土と交通
- 13週目 都市間交通
- 14週目 国際交通
- 15週目 新しい交通（水素社会、自動運転）
- 16週目 地域交通のまとめ + 試験

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・講義の11回目から14回目の4回は演習で、レポートを課す
- ・（予習）講義の中で次回講義のキーワードを示すので、インターネットを用いで調べてくる（90分程度）。
- ・（復習）講義の理解が不十分な箇所を明確にして、次回講義で質問できるように自分の考えと質問をノートにまとめる（30分程度）。
- ・30分以上の予習・復習を行うこと。

● 成績評価の方法・基準

期末試験（70%）とレポート（30%）の総合評価でおこなう

● 履修上の留意点

公表データを用いた具体的な実証分析が求められる

● 課題に対するフィードバックの方法

毎回、講義の中で小テストを実施し、その講評をその授業の終わりに口頭でコメントする

● テキスト

特になし。講義時に配布する

● 参考書

金子雄一郎著『交通計画学』（コロナ社）2012年、3000円

● 更新日付

2022/01/19 10:58